

## 地域之力で子どもたちを育てよう！ 《小学校スポーツの変革》 《小学校運動部活動の社会体育化》

問い合わせ

スポーツ課体育係  
☎ 43-7136  
学校教育課学事係  
☎ 43-7112

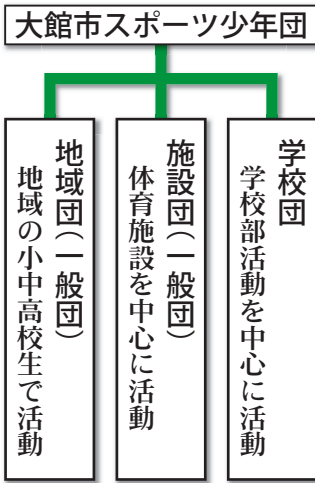
少子化の影響による学校の小規模化が進展し、スポーツ選択の機会が減少するなど、子どもたちを取り巻くスポーツ環境が大きく変化し、スポーツ本来の「体力の向上」や「健康の増進」、「豊かな人間形成」といった目標達成が困難な状況になりつつあります。

このような問題を解決するために立ち上がった小学校運動部活動の社会体育化。子どもたちの健全育成に欠かせないスポーツの推進を学校主体から地域へ移行する社会体育化の円滑な実現に必要なこととは？  
小学校運動部活動の現状や課題、地域の果たす役割などを特集します。

### 現在の小学生のスポーツ環境

専門的スポーツクラブとして活動している一部の団体を除いて、市内の小学生在が所属するほとんどの団体は、大館市スポーツ少年団に登録して活動しています。

小学校運動部活動も例外ではなく、現在は学校団として活動しています。小学校運動部活動の社会体育化とは、学校団を施設団や地域団へと移行していくこととも言えます。



### 学校団の抱える問題

小学校運動部活動は、教育課程外の活動として教職員の努力によって成り立っていましたが、少子化や社会の変化によって、その努力だけでは補えない問題が生じています。

- ・ 集団スポーツでチームが組めない
- ・ 子どもがやりたいスポーツを選択できない
- ・ 競い合い、高め合う喜びが少ない
- ・ 教職員の異動(転勤)により、継続的な指導が期待できない。同様に、専門的知識のない教職員が部活動の指導者になることがある



ミニバス大会

### 平成26年4月スタートを目指します！

学校団の抱える問題を解決する一手が社会体育化です。その実現には多くの課題が予想されますが、子どもたちのスポーツ環境整備は待ったなしです。平成26年度の全面移行を目指したスケジュール及び主な取り組みは、次のとおりです。

#### 23年度移行検討期)

- ・ 小学校スポーツ協議会設立
- ・ 社会体育化移行方針の策定
- ・ 各関係団体(学校体育連盟や競技団体、既存のスポーツ団体など)の課題抽出
- ・ 校長会や全PTA会長への説明会の開催

#### 24～25年度(移行期)

- ・ 移行周知活動
- ・ スポーツ少年団本部の活動指針作成
- ・ 育成母集団の形成
- ・ 総合型スポーツクラブの育成
- ・ スポーツ少年団指導資格取得講習会の実施(移行期特別実施)
- ・ 競技協会と連携した大会進行の検討
- ・ 施設などの条件整備
- ・ ※移行可能な地域や団体、競技は、年度を問わず移行を実施
- ・ 26年度社会体育化完了期)
- ・ スポーツ少年団本部への全権委譲

### すべては子どもたちのために

小学校区単位で地域団を組織することが基本になると思いますが、それぞれ学校規模による児童数や地域特性などの異なる事情があり、その形態は千差万別になると言えるでしょう。

このように、移行に関する課題の解決や現在の学校団で抱える問題の解決には、多くの関係者の努力と協力が必要となります。

「子どもたちのために」を合言葉に、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



学童野球

### 次回9月号は…

- 社会体育化移行により、子どもたちのスポーツシーンが、どのように変化するのか？
- 社会体育化移行に大人が協力できることは？ また、移行後はどのように携わっていくのか？
- 社会体育化は、地域にどのような効果をもたらすのか？
- 「小学校運動部活動の社会体育化の目指すべき姿と効果」をテーマに特集します。